

2. 行政コスト計算書

行政コスト計算書とは、行政サービスを提供するに伴って発生した一年間の費用（行政コスト）とそれに充てられる収入の状況を表したもので、民間企業における損益計算書に相当するものです。

（平成23年3月31日現在）

		出雲市単体	連結	
行政コスト 計算書	経常費用	1,022 億円	1,236 億円	
	1. 人にかかるコスト	人件費・退職手当引当金繰入など	141 億円	148 億円
	2. 物にかかるコスト	物件費・減価償却費・維持補修費など	314 億円	324 億円
	3. 移転支出的なコスト	補助金・社会保障経費など	517 億円	694 億円
	4. その他のコスト	公債費利息など	50 億円	70 億円
	経常収益		280 億円	404 億円
	使用料・手数料など	280 億円	404 億円	
	純経常行政コスト（経常費用－経常収益）	742 億円	832 億円	

	出雲市単体	連結
住民一人当たりの純経常行政コスト	43 万円	48 万円
(H21決算数値)	42 万円	47 万円

*人口は173,456人(H23.3.31住民基本台帳人口)で算出

3. 純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、貸借対照表の純資産の1年間の増減を示したものです。

純資産変動計算書では、資産形成にあたり、これまでの世代が負担してきた部分を示す貸借対照表の純資産の部の1年間の増減がわかります。民間企業における株主資本等変動計算書に相当するものです。

（平成23年3月31日現在）

		出雲市単体	連結	
純資産変 動計算書	期首資産残高	3,338 億円	3,403 億円	
	1. 純経常行政コスト	行政コスト計算書収支差額	△ 742 億円	△ 832 億円
	2. 財源調達	市税・地方交付税・補助金など	763 億円	849 億円
	3. その他	災害復旧費・資産除売却費・資産評価替えなど	2 億円	1 億円
	期末資産残高	3,361 億円	3,421 億円	

4. 資金収支計算書

資金収支計算書とは、1年間の資金の流れを活動別に「経常的収支」「公共資産整備収支」「投資・財務的収支」の3つに区分して表示したもので、民間企業におけるキャッシュフロー計算書に相当するものです。

（平成23年3月31日現在）

		出雲市単体	連結	
資金収支 計算書	期首資金残高	96 億円	125 億円	
	1. 経常的収支	税収・補助金・人件費など	203 億円	211 億円
	2. 公共資産整備収支	普通建設事業費など	△ 45 億円	△ 49 億円
	3. 投資・財務的収支	地方債元金償還など	△ 144 億円	△ 155 億円
	4. 前年度繰上充用金		0 億円	0 億円
	期末資金残高	110 億円	132 億円	

※連結分については、以下の法人等を加えています。

連結対象法人(出資割合50%以上)

名称	出資比率	名称	出資比率	名称	出資比率
出雲市土地開発公社	100.0%	株式会社カリス湖陵	77.8%	株式会社出雲総合卸売市場	55.0%
出雲市都市公社	100.0%	多伎町海洋観光開発株式会社	70.2%	斐川町土地開発公社	100.0%
出雲市教育文化振興財団	100.0%	株式会社すばる企画	61.2%	斐川町農業公社	50.0%
出雲ターミナル株式会社	82.0%	株式会社多伎振興	50.0%		
有限会社エコプラント佐田	79.3%	株式会社出雲典礼	60.0%		

連結対象事務組合(旧斐川町分含む)

名称	負担率
島根県市町村総合事務組合	22.0%
島根県後期高齢者広域連合(事務費)(保険給付費)	20.8%
斐川水道水道企業団(水道事業)	75.0%
斐川水道水道企業団(工業用水道事業)	100.0%

* 事務組合は負担割合按分で連結しています。
* 市出資金、金額の大きい内部取引等については相殺除去をしています。

参考資料

平成 21 年度決算分における他市との比較(普通会計)

1. 有形固定資産の状況

(単位:百万円)

区分	出雲市	松江市	浜田市	益田市	大田市	安来市	江津市	米子市
生活インフラ・国土保全	186,783	163,799	66,469	48,415	46,535	38,099	31,751	94,574
教育	78,210	92,403	32,835	15,378	26,483	23,076	11,309	43,646
福祉	4,642	15,237	5,273	4,994	3,005	7,441	1,572	4,022
環境衛生	18,445	24,485	2,734	4,557	4,632	3,378	2,371	12,074
産業振興	29,024	39,627	25,254	12,226	14,848	7,819	4,619	10,423
消防	3,930	4,437	2,290	602	615	673	554	4,198
総務	37,826	23,774	18,306	3,096	7,230	6,740	6,624	8,703
合計	358,860	363,762	153,161	89,268	103,348	87,226	58,800	177,640

住民一人当たり有形固定資産の状況

(単位:千円)

区分	出雲市	松江市	浜田市	益田市	大田市	安来市	江津市	7市平均	米子市
H21年度末住民基本台帳人口(人)	145,778	192,055	59,476	50,880	39,330	42,878	26,242	79,520	148,915
生活インフラ・国土保全	1,281	853	1,118	952	1,183	889	1,210	1,069	635
教育	537	481	552	302	673	538	431	502	293
福祉	32	79	89	98	76	174	60	87	27
環境衛生	127	127	46	90	118	79	90	97	81
産業振興	199	206	425	240	378	182	176	258	70
消防	27	23	39	12	16	16	21	22	28
総務	259	124	308	61	184	157	252	192	58
合計	2,462	1,893	2,577	1,755	2,628	2,035	2,240	2,227	1,192

* 数値は各市公表資料より転載

* 出雲市分は旧斐川町分を含まない単独分の数値

- (1) 出雲市の生活インフラ・国土保全分が他市に比し数値が大きいのは、近年の区画整理事業及び街路事業の事業量が大きかったためであると考えられます。
- (2) 出雲市の福祉分が他市に比し数値が小さいのは、市直営の社会福祉施設が少なく、民間の施設が多いためであると考えられます。
- (3) 出雲市の環境衛生分が他市に比し数値が大きいのは、ごみ処理施設(エネルギーセンター)及びし尿処理施設(環境センター)が比較的新しく、減価償却が進んでいないためであると考えられます。
- (4) 出雲市の総務分が他市に比し数値が大きいのは、庁舎(新庁舎)が新しく、減価償却が進んでいないためであると考えられます。

2. 分析指標の比較

財務書類から算定される指標や、住民1人あたりに換算した金額により、自団体の特徴をとらえたり、人口等規模の異なる他団体との比較を行うことができます。主要な財務書類を分析するための指標については、次のとおりです。

指標名	指標の意味	平均的な値	算定方法
歳入対資産比率	これまでに形成された資産が歳入の何年分に相当するかを表し、資産の形成度合いを測ります。	3.0～7.0年	資産合計÷歳入総額
資産老朽化比率	耐用年数に対して、全体としてどの程度資産の償却が進んでいるかを示します。比率が高いほど、償却が進んでいる可能性が高いと言えます。	35～50%	減価償却累計額÷(有形固定資産合計－土地＋減価償却累計額)×100
現役世代負担比率	社会資本等の形成に係る、これまでの世代の負担の比重を示します。高いほど健全であると言えます。	50～90%	純資産総額÷公共資産合計×100
将来世代負担比率	比率が低いほど次世代の負担が少ないことを表しています。	15～40%	(地方債残高＋翌年度償還予定地方債)÷公共資産合計×100
受益者負担比率	行政コストに対する受益者負担の割合を示します。	2～8%	経常収益÷経常行政コスト×100
住民一人当たり資産	-	1,000～3,000千円	資産合計÷住民基本台帳人口
住民一人当たり負債	-	300～1,000千円	負債合計÷住民基本台帳人口
住民一人当たり純経常行政コスト	-	200～500千円	純経常行政コスト÷住民基本台帳人口

指標名	H21決算 出雲市	H21決算 松江市	H21決算 浜田市	H21決算 益田市	H21決算 大田市
歳入対資産比率	5.7年	4.0年	4.5年	3.6年	4.3年
資産老朽化比率	39.0%	40.7%	47.8%	-%	46.4%
現役世代負担比率	65.2%	67.4%	73.5%	59.1%	71.3%
将来世代負担比率	36.4%	31.9%	32.1%	40.4%	32.8%
受益者負担比率	5.8%	5.8%	3.5%	4.3%	3.7%
住民一人当たり資産	2,595千円	2,092千円	2,829千円	1,867千円	2,913千円
住民一人当たり負債	983千円	789千円	932千円	829千円	1,006千円
住民一人当たり純経常行政コスト	358千円	364千円	486千円	412千円	482千円

指標名	H21決算 安来市	H21決算 江津市	H21決算 雲南市	H21決算 県内8市平均	H21決算 米子市
歳入対資産比率	4.0年	3.4年	-年	4.2年	3.8年
資産老朽化比率	45.6%	43.5%	-%	43.8%	-%
現役世代負担比率	65.3%	66.3%	67.1%	66.9%	61.0%
将来世代負担比率	27.0%	35.5%	36.9%	34.1%	39.0%
受益者負担比率	4.8%	4.0%	3.7%	4.5%	5.3%
住民一人当たり資産	2,193千円	2,426千円	3,170千円	2,511千円	1,294千円
住民一人当たり負債	854千円	940千円	1,241千円	947千円	505千円
住民一人当たり純経常行政コスト	410千円	442千円	656千円	451千円	281千円

* 各市公表資料から転載・算定、「-」は非公表 * 出雲市分は旧斐川町分を含まない単独分の数値
* 分析指標及び平均的な値は、「新地方公会計制度の徹底解説」(ぎょうせい)による

出雲市の場合、各指標とも平均的な値の範囲内ですが、他市に比べ住民一人当たりの負債額が多く、将来世代負担比率が高いため、引き続き起債発行の抑制及び既発行地方債の繰上償還を進め、負債の縮減に努める必要があると言えます。